

評価結果報告書

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係 宛て

提出日: 令和6年 11月 14日

事業所名	グループホーム和楽
担当者名	松村 久仁子
連絡先	0835-28-8731

運営推進会議等での評価実施日 令和6年 11月 14日

提出書類(対象サービスの□に✓印をして下さい)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(別紙 1) 自己評価・外部評価 評価表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)

(別紙 2-2) 事業所自己評価

(別紙 2-4) サービス評価総括表

看護小規模多機能型居宅介護

(別紙 3-3) 運営推進会議における評価

認知症対応型共同生活介護

(別紙 2 の 2) 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

【提出先】

防府市健康福祉部高齢福祉課介護給付係

E-mail: kfukushi@city.hofu.yamaguchi.jp

評価結果報告書と提出書類をメールで提出ください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール【グループホーム和楽】

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人研修、職員研修、日々の勤務で管理者、主任、補佐が伝え、説明・共有している。			グループホームについてや認知症の方との関わり方や事業所の理念を今後も職員へ伝えていく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの感染状況で、なかなかできていないが、外食(回転寿司)や地域の喫茶店に食事に行き交流を行っている。	○入居者の方がどのように生活をされたら喜ばれるか？		コロナの感染状況により、対応をしなければいけないと思う。特に女性の方は、買い物がお好きなので、喜ばれると思う。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類になった事と感染予防に注意を行いながら、対面で開催を行い、委員の方へ直接意見を伺うことができています。予定があり、参加が難しい方に関しては資料配布・意見聴取を行っている。	○運営推進会議の状況		堅苦しくない会議で、話しやすい。今後も交流ができれば嬉しい。
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH連絡会(防府市・市内のGHの施設長や管理者が出席)への参加や制度面で不明な内容がある時は、市の担当者の方へ相談し、適宜回答を頂いている。	○市との連携、協力について		制度面では、他市と異なる場合もあるため、その都度市が判断していればと思う。この春人員が変更し慣れていない職員も多いので、市とGHと一緒によくなっていければと思う。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議や研修で身体拘束について学んでいる。玄関の施錠については安全面のため、夜間と必要に応じて施錠をしている。		A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束のケースが曖昧で、難しい内容やケースもあるが、その都度検討していく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化会議(4回/年)や研修(2回/年)で虐待防止についても学んでいる。身体拘束適正化会議は、運営推進会議を活用して対応している(4回に1回を運営推進会議で対応予定)。		A. 充分にできている ⑨. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方が幸せに生活できるように、職員も学んでいくことと、ストレスマネジメントを行っていく。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修で成年後見制度について対応しているが、機会があれば外部研修も行ってきたい。			入居者の方の権利が守れるように、職員も日々自己研鑽をしていく。また外部研修(オンライン研修含む)の活用ができればよいと思う。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約当日説明、同意後、署名捺印を行っている。また後日不明な点があれば、面会時や常時電話連絡で疑問点を確認・返答している。			契約時には、ご家族も不安な面や色々な思いがあると思うので、後日不明点が出てくると思うので、今後もその都度ご家族の話を傾聴していく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者・家族に関しては、ご意見や要望を言って頂けるように面会時や電話やメールで対応している。必要時には、要望シートを作成し、他職員へも伝えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から要望等があれば、全職員へ伝えて、よりよいサービスになるように努めていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議や何かあれば会議以外でも対応している。また必要に応じて、職員会議を開催し、意見を聴いてる。会社へ報告する内容は、経営会議で報告している。			今後も職員の方が働きやすい環境になるように、対応して行っていく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就業環境については、職員から意見があがった場合には、管理者より代表者へ伝えている。勤続年や資格に応じた、賃金テーブルを設定している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状の介護報酬と職員の頑張りがいとイコールになっていない所がある。大変だと思うが頑張ってもらって欲しい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類になり、外部研修(対面研修、オンラインどちらも)に参加を行っている。今後は、職員が興味のある研修(介護技術、制度)にも感染状況を見ながら参加を勧めていく。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年～1年に1回、雇用契約についての話し合いを行っている。話を聴き、今後の方向性を話していく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、GH協会、GH連絡会への参加、劇団/一期一会もふくしまつりの参加や地域のサロンで認知症の劇を行った。			サービス業として、自己研鑽をし、質の向上に努めていく。

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族とも過去の生活歴もできる限り把握し、ご本人の要望も聴きながら、職員と一緒に食器拭き、可能な方はモップで自室の掃除を行っている。			ご本人の想いが異なるため、可能な限りご本人の要望を聴くと共に、個々の精神状況や身体状況に応じて、対応して行く。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況に併せ、対面での面会(玄関先や窓越しを状況に併せて対応。1回15分程度)やテレビ電話で面会を行っている。知人の方ともご要望があれば、面会を行っている。 知人の方より電話があり、会話を楽しまれている方もおられる。 在宅で過ごされていた時に行かれていた馴染みの美容室に今も職員(又はご家族)が同行し通われている方もおられる。	○面会の状況や個別のやり取りについて		状況に応じて面会制限もあるが、職員はコロナ禍の状況に応じて、よく頑張っておられると思う。今後ともよろしくお願ひします。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族、元のケアマネージャーの方(新規入居時)に過去の生活歴や趣味、特技、要望を確認し、継続ができる内容であれば継続を行っている(手作業、家事、近所の実家を見たい等)。またその都度計画要望があれば、必要時に計画し、対応を行っている(ご飯が食べに行きたい等)が、全ての要望に応える事はできていない為(例:市外の自宅に行ってみたい等)、今後も内容を検討し、対応を行っていく。			入居者の方が、安心して生活ができるように、要望や趣味等好きなことができるとういのですね。

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員、管理者が中心となり、更新時にモニタリングを行っている。また、全体会議(毎月開催)内でケアプランにそった内容を話し合い、モニタリングを行っている。	○ケアプランの作成について	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々関わられている職員の方の意見を聴き、計画作成担当者の方が、その方に合ったプランを作成して行けばよいと思います。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やヒヤリハット、よかったホット等を活用し、職員間で情報共有を行っている。また、以前より変更した内容や入居者の要望に関しては、介護計画書の見直しを必要に応じて行っている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護の現場を把握されている職員の方の意見を聴き、その方のニーズや状況に応じてプランを作成して行けばよいと感じます。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族より要望がでた場合、要望シートを作成し、職員へ情報共有を行っている。医療面に関しては、必要に応じ、主治医、理学療法士、作業療法士等から助言を頂いている。歯科に関しては歯科医から助言を頂いている。	○主治医との連携		家族の意見としたり、24時間主治医が何かあれば往診(電話での指示)を出してくれるので、安心しています。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの感染状況に応じて、地域の喫茶店に行ったり、楽さん家だより(新聞)を地域の方へ配布を行っている。	○入居者の方が行われていることについて		喫茶店や近隣のスーパーやコンビニに行き、買い物が出来ているようなので、このまま継続をしていくと入居者の方も喜ばれると思う。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	初診後以降は、24時間往診が行われている。また必要に応じて訪問看護や訪問歯科も活用し対応している。ご家族から指定された医療機関であれば、ご家族にも協力をして頂き、通院(又は薬を病院まで取りに行っ頂く)に協力をして頂いている。			24時間往診をして頂けるので、家族としては安心している。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、関係機関へ入居者の情報提供を行った。退院時には、ご家族、病院(地域連携室)から情報提供を行っていただき、職員へ情報伝達を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も、主治医と入退院時には地域連携室の方と連携を図り、対応を行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に重度化した時のご本人(又はご家族)の意向を確認を行っている。ご家族には、状況が変化した時に再度要望の確認を行うことと内容は変更することは可能と伝えている。 主治医が看取りの判断を行った場合、看護職員がご家族の意向を再確認し、主治医へ報告を行っている。 ご家族からの希望があり、和案内に宿泊を行い、看取りを行った事例がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の最期を迎える時に、家族は意見が異なり、家族としてはどう対応したらよいか迷う場面がある。その時に、一番よい選択ができるようにサポートして欲しい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故、急変時のマニュアルを作成し、供覧しているとともに全体会議や看護職員が個別に情報提供を行っている。 何かあれば、都度看護職員、主治医の判断を仰ぐ。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回地域参加型の避難訓練(内1回は防災訓練も含む)を行っている。コロナの状況が落ち着けば、ご家族にも声を掛けていく予定。 新田の楽さん家と共同開催を行っているため、理解者(自治会長、地域役員)がいる。	○夜間に災害が発生した場合や水害(地域的に海が近いため)が発生した場合について質問があがる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地理的に水害が発生した場合の対応に不安があります。 →今後の課題とする。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自尊心、羞恥心に配慮し、声掛けを行っている。入浴時にも脱衣所にカーテン(防災)を使用し、他者から姿が見えないよう		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方の自尊心や羞恥心に配慮をして今後も対応して欲しい。

				に配慮している。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事時間の目安はあるが、ご本人の前日の就寝状況や体調の様子をみて、食事時間をずらすこともある。入浴に関しては、その方の希望にできるだけそうようにしているが、夜間(職員一人体制時)に希望された時には、事故予防のため、翌日に対応を行うこともある。			その方によって、生活のペースや要望されていることが異なると思うので、一人ひとりに話を聴き、今後も対応をして行って欲しい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の好みをご本人やご家族、日頃の食事状況を見て把握し、できるだけ無理に勧めないようにしている(苦手な物、食事量)。また、最初から少食の方は少量のみ盛る等工夫を行い、食事が苦痛にならないよう配慮している。 食事形態(常食、ソフト食、ゼリー食)はその方にあった内容を看護職員と相談。必要時には主治医へ相談し、栄養士、言語聴覚士より助言を頂いている。 食事の準備、後片づけも可能な方は、職員と一緒にやっている。 行事食や要望があれば、できる範囲で対応を行っている。		A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の状況や飲み込みの状況も異なるため、専門職の意見や助言も聴き、今後も対応を行っていく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ③. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ナリコマの栄養士の方が約1、400カロリー/日(食事、おやつ)で計算している。 食事量、水分量は個人日誌やバイタルチェック表で摂取量の把握を行っている。			カロリー計算をされているため、安心しているが、その方の状況に応じて、今後も対応を行っていく。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行い清潔を保っている。本人の口腔内の状況に応じて、歯ブラシや口腔スポンジ等を使用。必要に応じて、歯科医師、歯科衛生士に口腔内のチェックや助言をして頂いている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアをしっかり行い、健康面や衛生面も今後とも個別でしっかり対応を行っていく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌を活用し、排泄状況の把握に努めている。ご本人の意向、状況を把握し、各入居者の状況に応じ、布パンツ、リハビリパンツ、オムツ等対応している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状況と要望に応じて、その方に一番合った下着で対応をしていくことと不快感が少しでも無くなるように対応をしていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況に応じて、入浴支援を行っているが、夜間(20時～翌8時の職員が一人体制時)に入浴の要望が出た時には、事故予防のため、要望に応じられない時がある。			夜間に入浴をされていた方もおられると思うが、GHの職員の状況によっては厳しい面もあると思うので、叶えられる範囲でその方の要望に添い対応を行っていく。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人日誌やご家庭の様子をご家族へ確認し、生活習慣や安心して休んで頂けるように配慮している(電気や音の調整)。淋しい時には、可能であれば添い寝をしたり、ご本人の要望を聴きテレビをつけ人の声がある事で安心して休まれた事がある。			添い寝を要望される方であれば、職員の状況や話も聴きながら、無理の無い範囲で対応したら、入居者の方も安心して休まれると思う。職員によっては、添い寝が難しい人もいると思うので、できる職員のみで対応を行っていく。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医に状況を報告、相談しながら対応を行っている。薬剤師の方と看護職員が連携し、何かあれば24時間薬に関して、相談に乗って頂いている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬拒否が見られる方もおられるため、ご本人が安心して服薬ができるようになれば良いですね。また必要に応じて、薬剤師の方に相談に乗って頂けるので、安心できますね。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の方に在宅で生活をされていた時の状況を確認し、畑仕事や折り紙、家事(食器拭き、洗濯物たたみ等)を行っている。	○職員が入居者の方に対して、日々対応していることについて話す。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ◎. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の要望で、散歩や喫茶店、地域のスーパー、コンビニに行き、買い物を行った。 ご家族に手紙を書かれた時には、散歩がてら近所のコンビニと一緒にいき、ポストに投函をした。	○外出支援の内容について	暖かい日であれば、短時間でも外気浴を行うと気分転換になって良いと思います。 近くにスーパーも出来たので、今後も入居者の方が好きな物を購入していければよいですね。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ◎. ほとんどできていない	入居時にご本人が所持されていた財布にお金が入っていた方は、一緒に買い物に行かれた時には、そこから支払われていたが、所持金が無くなってからは、ご本人からの要望が特に無かったため、こちらで管理を行っている。		女性の方であれば特に今までの生活の中で、認知症を発症する前には当たり前前に買い物に行かれたりされていたと思うので、可能な方には、スーパーやコンビニで購入する時には、お金の支払いをして頂くことも良いと思う。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人所有の携帯電話がある方は、ご家族とも話し職員で管理を行っている(充電切れや紛失予防)。電話が掛かれば、会話をされている。 ご家族に手紙を書かれ、一緒にポストに投函された事がある。その後、ご家族より返信があったため、ご本人に渡した。		ご家族の声を聴く事で安心される方もおられると思うので、ご家族や知人の方とも繋がることのできるため、今後とも対応して欲しい。 ハガキや手紙も返信があり、ご本人に渡すことで繋がりを感ずることができると思う。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペース(玄関、食堂)に季節が分かる飾り(花、壁面)を行っている。壁面は入居者の方とも一緒に作成し、季節が分かるようにしている。 電気や生活音もできる限り、不快な思いをされないように夜間休まれる時には、小豆電球等希望を聴き対応した。 自室が暗いのが不安な方には、電気やテレビをつけ休まれる等要望にそって対応を行う。	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方と一緒に壁面を作成することはとても良いと思う。 夜間も音がある事で眠れなくなる方もおられると思うが、不安な方は音があることで休まれると思うので、これからもご本人が安心して休むことができる環境を作って欲しい。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の要望にそって対応を行う努力はしていますが、夜間一人体制の時に『散歩に行きたい』『お風呂に入りたい』等ご要望に沿えない時もあるため、ご本人には状況を説明し、翌日に対応を行っている。			ご本人の要望と職員の状況に応じて、要望を叶えていただければいいと思う。職員の方も大変だと思いますが、頑張ってください。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族(知人)とご本人の繋がりが切れないように、電話で話をしたり、はがきでのやり取り(年賀状、暑中見舞い)を可能な方には、職員がサポートを行い対応をしている。			入居してもご家族や知人の方とも繋がりが持てるので良いと思う。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面、医療面に関しては、ご本人の状況に応じて、主治医とご家族と連携し対応を行っている。ご本人の身体面に応じて、自室の環境(ベッドやタンスの位置)を対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の意見も聴きながら、主治医と協力をしながら、対応を行っていく。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前にご家族や元のケアマネージャーの方から生活歴の情報収集を行う事とご本人とコミュニケーションを図り、要望や状況を見て、生活して頂けるように配慮している。			今後も、ご本人の要望やご家族、関係者の意見を聴き、生活を支えて行って欲しい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅で使用していた家具(馴染みの物)や靴や人形等の小物を持って来て頂き、使用されている。また、家族写真を飾っている方もおられる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の方は、環境が変わることで落ち着かなくなる場合がありますが、馴染みの物があれば安心される事もあるので、今後もご本人が大切にされている物や写真等があれば、自室に飾ることで家族との繋がりがりや安心した生活空間になると思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため、外部のイベントに参加が難しい状況。日中に外気浴や短時間の散歩を行っている。	○コロナ感染予防のため、8月に開催した地区の夏祭りに参加を行う予定が、できなかった。また地区のお祭りやイベントに参加を行って行きたい。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員で情報収集を行い、把握に努めている。ご本人より要望があれば、家事や畑仕事を一緒に行っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況や要望により、自室で生活されている方や食堂で他の入居者の方とコミュニケーションやイベントの参加を希望される方は、食堂でコミュニケーションやイベント、家事を職員と一緒に行われている。		A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方、個々で意見や要望が異なると思うので、今後もその方とコミュニケーションを図り、日々過ごして欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の喫茶店に食事やコンビニに散歩がてら買い物に行き、好みのお菓子やパンを購入された。また地域の方に楽さん家だよりを配布し、和楽の状況を伝えている。 外出先で近所の方に出逢ったら、顔を知って頂けるように挨拶を行っている。	○入居者の方と地域に行き、買い物を行っている事や和楽で対応を行っていることを話す。		入居者の方の個々の意見を聴き、今後も要望に添って対応をして欲しい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方と信頼関係が少しずつ構築できていると思う。職員も入居者の方や状況を把握することでご要望を言って頂けたり、顔なじみの方が増え、笑顔が見られている。	○まとめて皆さんに意見を伺う。	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方を見ていると明るくて、思いやりを感じます。入居者の方も安心されると思うので、今後とも頑張っていって下さい。

目標達成計画

事業所名 グループホーム 和楽

作成日 令和6年11月13日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	・新田の楽さん家と合同で年2回避難訓練（防災含む）を行っているが、コロナウイルス感染予防で、家族・外部の参加ができていない状況である。職員も少なく、参加ができる職員が限られているため、参加を促し有事の際には対応ができるようにしていく。	・家族が来訪された時や運営推進会議の委員の方、外部の方の参加を促していく（協力体制を仰ぐ）。 ・職員に無理のない範囲で参加を促し、緊急時の対応ができるようにする。	・運営推進会議や自治会の方へ、避難訓練の情報提供を行い、和楽での取り組みや避難の流れを伝えていく。 ・職員の参加人数が少ないため、有事の際に対応ができるようにするため、人員体制を強化する。	12カ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。